



志幌の志

魅力

～発見・創出・体験・体感

誇り

～好き・尊敬・愛着・自信

未来

～創生・交流・夢・発信

2024
9

作成：土幌町教育委員会

令和6年度も上半期が終わります。

令和6年度も間もなく上半期が終了となります。

前号までで、各校(園)の第1回運営協議会の概要を掲載しました。そこで紹介されていたような内容で、地域学校協働活動が展開されています。

今回は、『地域みんなで子供たちの未来を考えるワークショップのすすめ—地域とともにある学校づくりに向けて—』(制作●株式会社ノースプロダクション《浦幌町》文部科学省委託事業「学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究」)から、一部を掲載します。今、行われている活動を通して、以下のようなメリットが実感されているか考えていただく機会にしてみましょう。

学校協働のメリットとは？

子供・保護者 にとって

- ◎地域のいろいろな人が学校に関わるため、学びに多様性が生まれます。
- ◎地域の大人に見守られることで、子供が地域とのつながりを実感し、安心感が生まれます。

学校の教員 にとって

- ◎地域との信頼関係が深まり、教育に参加してもらうことで、教育活動に厚みを生み出せます。
- ◎地域に目を向けて、多様な人々と関わる経験は、教員の知見を広げることにとなり、指導力の向上が期待できます。

地域の人々 にとって

- ◎子供たちが地域の一員という意識を深め、ふるさとへの愛情が深まります。
- ◎地域の人々がつながる場として学校が機能することで、地域のネットワークが形成されます。

いかがでしょうか。「確かにそうだな」と改めて感じる部分、そして「そこまでは、いっていないかな」と感じる部分。それぞれに振り返りながら、活動を進めていきましょう。

下半期は、「PDCA サイクル」でいうと「D(do)」「C(check)」「A(action)」と進むことになります。上述の「メリット」が実感できるよう、工夫していくことが大事になりますね。

ここ最近、テレビやネットでよく「CS」という単語を目にしますよね！しかし、ここでいうCSは“クライマックスシリーズ”ではありません。「コミュニティ・スクール」なのです。私も昨年まではそっちのCSしか聞いたことがありませんでした(汗)地域で子供たちを育てていこう、そういう教育ができる学校(園)にしよう！というのがコミュニティスクールです。私は4月よりそんな取り組みの中の“地域と学校の架け橋”を担い、半年が経ちました。中央中学校では、さまざまな取り組みに関わらせていただき、私も生徒たちと出会いたくさんの学びをいただいています。下半期は各小学校、こども園、高校にもっと入り込み学校の活動を知り、地域とおつなぎできればと思っています！さて、そんなCSコーディネーターは、もう一つのCSのチケットもGETしたので、日ハム応援に行ってきます～。

(服部)

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！